

りという事を知って育って行くのだと思います。

子供達の心を育てて行く為には私達の活動だけではだめだと思ひます。どうかロータリークラブの皆様方又各団体の皆様方の御協力を得たいと思ひます。

親子劇場あれこれ 山家まり子様

三条親子劇場の山家まり子と申します。私が親子劇場に入ったのは7年前で、子供が5才と3才の頃でした。友達に誘われて入会しましたが、最初はなんだかさっぱりわかりませんでした。でも劇を観る事が好きだったものですから、色々な劇を気がるに観る事からはじまりました。いろいろなお母さんとお会いする事が出来たり、親子劇場を知ってもらう為に学校関係も通って見ました。そこで校長先生の色々な面が見えてきたり、色々な事がわかって来ました。普通の専業主婦をしていてもこのような活動をしますと色々な経験が出来たり、色々な人々と会う事が出来てとても楽しくやっております。又劇場の方々とお会いしているとすぐ子供達の話になるのですが、目には見えないけれど、心に残る事があると思ひます。子供達に舞台を観せて感激という心に残るものがあるのではないかと思っております。ぜひだれでもこの劇団に入れますのでよろしくお願いしたいと思います。

4月のお祝い

誕生祝い

長谷川博一君 1日 早川 町子様 1日
梨木 建夫君 2日 稲田美津子様 14日
今井 克義君 10日 高橋 淳子様 30日
長谷川恵慈君 17日
堀川 正幸君 21日
米山 忠俊君 22日

結婚祝い

落合益夫・千鶴子ご夫妻 3日
石月雅司・恵美子ご夫妻 4日
鈴木英友・成 子ご夫妻 11日
佐藤文夫・君 子ご夫妻 15日
白崎哲男・輝 子ご夫妻 17日
羽賀一夫・芙美子ご夫妻 19日
堀川正幸・美智子ご夫妻 25日



4月14日例会： 私とロータリー 稲田憲治前幹事

4月21日例会： 新会員卓話 長谷川恵慈君



三条北ロータリークラブ週報

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

国際ロータリー会長 ラジェンドラ.K.サブー 第2560地区ガバナー 橋本 力

例会日

1992. 4 . 7

累計 No 264

当年 No 39

会長／山上 茂 夫

幹事／堀川 正 幸

SAA／味 方 義 一

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事： 卓話「親子劇場あれこれ」親子劇場主宰島田伸子様・山屋まり子様

出席： 本日の出席 55名中42名

先週の出席率 54名中51名 94.44%

先週のメイクアップ： 4月1日 三条RCへ 芦田義重君 加藤 実君 石月雅司君 山本 充君
高橋彰雄君 坂内康男君 山上茂夫君

2日 新潟西RCへ 山上茂夫君

3日 吉田RCへ 高橋彰雄君 小林 満君

5日 会長エレクト研修セミナーへ 梨本清一君 村山誠一君

6日 三条南RCへ 佐藤啓策君 鈴木英友君 吉田春雄君
羽賀一夫君

ビジター： 新潟南RCより 川入和彦君

三条RCより 鈴木宗資君 藤田紘一君 丸山行彦君 細井増雄君

五十嵐晋三君 渋谷健一君

三条南RCより 大原義弘君 若林幸哉君

ゲスト： 親子劇場主宰島田伸子様・山屋まり子様

会長挨拶： 山上茂夫

只今過密なスケジュールの中で委員会、BOX委員会などの発表がありました。それをきいておりまして会長挨拶はしなくてもよいと思っておりましたが、矢張り会長挨拶とのことですからこれから御挨拶を致します。

本日は新潟南クラブから川入和彦さんようこそお越し戴きまして有難うございました。三条ロータリークラブから鈴木宗資さん、藤田さん、丸山さん、五十嵐さん、渋谷さん、細井さん、三条南クラブから若林さん、大原さんどうも有難うございました。いつも大変沢山のお客様においで頂戴しまして喜んでいただいております。厚く御礼を申し上げます。

先程ボックス発表の中でも一寸お話がありましたが、梨本さんが角田山頂でガバナーノミニーとお会いになったとの事でしたが、頂上会談で何をお話になったのか興味深いところであります。総べてTOPのお話しは雲の上で判りにくいところですが、またその「判らないところがロータリーだ」とも云われておりますけれども私達はゆうべ遅くまで理事会をもちまして、皆さんの善意であるニコニコBOXをどの様に使ったら良ろしいのか。これを真剣に討議致しました。

いろいろな事もございましたし、私の年度になってソフトの部分と申しますか、自分をみつめたら更に自分を超えた眼で廻りを見つめられる様なクラブにして参りたいなあと考えておりました。幸い社会奉仕委員会親睦委員会などから適切なアドバイス、それから適切な企画もありまして、先程幹事さんからお話がありました様に5月に「タンゴを聞く夕べ」と云う事に理事会で決定をしております。

具体的なことについては、社会奉仕委員長親睦委員長から後日その作業が進んでゆく中で発表されてゆくと思いますが、先づは私年度の一つのイベントとしてチャリティと云うことで出来ればその寄金は福祉のために寄贈したいと云う事で進行しておりますので、皆さんの何分の御協力をお願いしたいと思っております。

更に三条クラブ、南クラブさんにもぜひ御理解と御協力を賜りたいなと思っておりますのでございます。固いお話作りではなく、ニコニコBOXのお話をいたしますと、大変楽しくきけるクラブも御座います。私はチョクチョク新潟西クラブにお邪魔をいたしますが、そこでは可成り御高齢で80才以上の方ですが、ひとつひとつコメントを御言っています。そしてそのコメントの内容が大変楽しく御自分の判断でその場その場でアドリブでお話されます。矢張りユニークな方であろうかとは思いますが、何か役割りを持っておられますと生き生きとしておられます。私達も見習うべきだなあと思います。また今日は商工会議所の会頭でもあられます鈴木さんがおみえになっていらっしゃると思いますが、鈴木さんのお話もユーモラスでユニークでありまして、私もその様な味のある楽しいお話がきけるので成可くその様な機会は欠かさず出る様にしているところでございます。

今日は親子劇場から島田伸子さん、山家まり子さんをゲストスピーカーにお迎えして「親子劇場あれこれ」についてお話をさせて頂くことになっております。よくTVでビデオカメラなどの放映がありますが、子供さんのしぐさや何か大変可愛いところがあり、思わず笑ってしまうことがあります。これは子供さんは無邪気に片肘張らずに、リラックスしているからであります。私も肩から力を抜いて片肘張らずに後、僅か残された任期を皆さんと一緒に楽しくやって参りたいと思えます。どうかよろしく願いを致します。今日はどうも有難うございました。

幹 事 報 告：堀川幹事

◇日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会北海道大会のご案内

日 時 6月22日（日）・23（月）

会 場 札幌国際カントリークラブ

今井克義君 米山奨学事業の目的に賛同して

佐藤義英君

阿部誠一郎君 トナリに吉川君不運なり

石月雅司君 坂内さんに協力して

羽賀一夫君 3月31日宮崎フェニックスカントリークラブでゴルフをして来ました。青木功がいましたがフツの人でした

卓 話： 親子劇場あれこれ 島田伸子様

三条親子劇場に所属しております島田伸子と申します。本日は私達の活動をご理解していただく場を与えて下さった北ロータリーの皆様方に感謝いたします。

私達は劇をする団体ではございません。私達親子劇場は7年目を迎えました。今約800人位入会しておりますし、4才以上であればどなたでも入会出来ます。会費は1ヶ月800円いただいております。活動としましては例会活動と自主活動の2本立てでやっております。例会活動としましては舞台観賞しております。低学年と高学年に分けて年令にあったものを観賞しております。プロの劇団のやっている作品を自分達で選んで1年に3本ずつ見ております。

自主活動としましては、子供まつり、自主映画等自分達で企画してやっております。私達がどうしてこのような活動をやっているのかと申しますと私達のスローガンにも上げておりますが、子供達に夢を、豊かな創造性を、きれいな服よりも心のかてとなるものをいつも考えながらやっております。劇台の主人公と自分をオーバーラップする事によって色々な体験をします。自分達の夢をふくらませたり、悲しんだり、喜んだりしながら観賞します。テレビと違って生の人間が一生懸命にやっているものを見る事が直接伝わってくるものがあります。

自主活動は創る事、今の子供達は物を与えられるばかりで物を創る力がなくなっていると思います。それで私達は創造性を養ってもらうために先回の子供まつりの時にはクッキーを子供達に渡しまして、思い思いの形をつくってもらう事にしました。制限無しで物を創らせるわけです。子供達はそのような機会がなかったものですから初めはとまどっていましたが創り始めますと余念がなく、いろいろな形のを創り出しました。中にはすばらしいものもたくさんあったのですが、子供達はそれを食べてしまい、一寸残念なところもありました。

又廃材を集めて「何でもいいから創ってごらん」と与えて見ました。いつも新しいものばかり与えられている子供達にとってどうやっていいのか最初は茫然としていましたが1人が創りはじめますと、次から次へと行動に移りました。人のものを見ながら、又、自分の思いをこめながらなんとか創るのです。他に牛乳パックをつかって飛行機とかロボットとかとても親には想像も出来ない物を創るのです。ちょうどクラフトピアがありましたので、これらの作品を出品させてもらいましたところ、子供達の創造性を認めてもらい何品かはジュニア賞に入りました。子供達も認めてもらった事が自分達の自信になりました。子供達は友達と遊ぶ事によって色々な体験をし、又おもしろ